

夏休み期間の特別貸出がはじまります。今年は図書室の引っ越しを予定しているため、貸出冊数は無制限としています。この機会に、読みたい本をたくさん借りてくださいね。

また、返却期限を過ぎている人には督促状を発行しています。期限が過ぎた本を持っている人は夏休み前に必ず返却してください。

青少年読書感想文コンクール

課題図書



中学

『君の火がゆらめいている』 落合由佳/作 講談社

『チーム・テストならだいじょうぶ』

カービー・ラーソン&クイン・ワイアット/作
杉田七重/訳 鈴木出版

『リュウグウの砂に挑む：チームで小惑星のサンプルを分析』

伊藤元雄/著 くもん出版



高校

『スウィッシュ！』 藤ノ木 優/著 徳間書店

『ノアハム・ガーデンズの家』 ペネロピ・ライヴリー/著
斎藤倫子/訳 ゴブリン書房

『平和のうぶごえ：「原爆の子」として生きた80年』

早志百合子/著 毎日新聞出版

貸出できます！
お目当ての本が
ある人は
早めどうぞ！



夏休み特別貸出

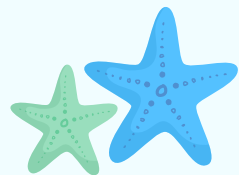
7/13(月)～24(金)

- ・ 冊数：無制限
- ・ 返却日：9/30まで

返却期限が過ぎている本を持っている人は、
夏休み前に必ず返却をしてください。
返却後、夏休みの本をかりることができます。

※7/27(月)からは引っ越し作業のため、
貸出・図書室への立ち入りはできません。
ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。





君の顔では泣けない君嶋 彼方
角川書店

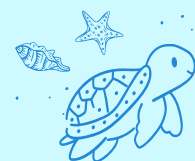
この作品は、高校1年生の坂平陸と水村まなみがプールに落ちたことをきっかけに入れ替わり、15年間にわたり他人の人生を歩むというお話です。登場人物たちの、自分の気持ちをうまく言葉にできず、相手に伝えられないもどかしさを抱えているところは私達も共感しやすいと思います！ぜひ読んでみてください📖✨

高校3年生

図書委員のおすすめの本

スーパーカブ3

KADOKAWA
トネ・コーケン



山梨を舞台とする人気小説「スーパーカブ」は、両親も友達も趣味もなく、静かな毎日を送っていた高校生の小熊が、一台の中古のスーパーカブと出会うことで少しずつ世界を広げていく物語です。「スーパーカブ3」では、自由奔放な同級生の礼子や、個性的な仲間たちと関わり合う中で、小熊の日常も少しずつ変化していきます。派手な展開ではなく、山梨の景色や放課後の空気感、バイクで走る時間が丁寧に描かれているのが魅力の作品です。3だけではなく他の作品も手に取って読んでみてください！

図書室の神様たち / 櫻いいよ 小学館

居心地の悪い家に帰りたくない爽風は、放課後になると学校の裏庭にある古い図書室へ通うようになります。そこで出会ったのは、不思議な雰囲気を持つ同級生の誠。二人は少しずつ心を通わせていきますが、爽風はある日、誠に関する衝撃の事実を知ることになります。

時間が交錯する不思議な図書室を舞台に、過去と未来、そして大切な人を救おうとする強い想いが描かれた感動の青春ストーリーです。読み進めるほど物語に引き込まれ、ラストにはきっと心を動かされます。ぜひ読んでみてください。

かがみの孤城

ポプラ社 辻村深月

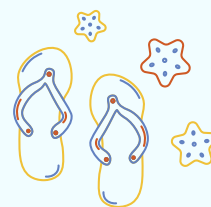
「君を、一人にはしない。」

中学生のころは学校に居場所をなくし、部屋に閉じこもる日々を送っていた。そんなある日、部屋の鏡が突如として光を放ち始める。鏡の中に吸い込まれるように入っていくと、そこにはおとぎ話に出てくる城のような建物と、6人の見知らぬ中学生がいた。そこへ狼のお面をかぶった少女「オオカミさま」が姿を現し、ここにいる7人は選ばれた存在であること、そして城のどこかに秘密の鍵が1つだけ隠されており、見つけた者はどんな願いでもかなえてもらえると話す。

読み終わった後には心がじんわりと暖くなり、とても勇気をもらえる一冊です。ぜひ読んでみてください。

スーパーキッズ 最低で最高のボクたち 佐藤まどか 作

講談社



ピアノと歌の才能がある主人公の少年は、校長先生から推薦を受け、地中海に建設された特殊な才能のある子どもを世界中から集めた学校に通うことになりました。そこは、奇人や変人がたくさん、そんな個性豊かな様々な才能を持った仲間たちとの新たな学校生活が始まります！自身の特技を活かした姿に力強さや感動を与えられる本です。ぜひ読んでみてください。

君の臍臓をたべたい / 住野よる

偶然クラスメイトの秘密を知った「僕」と、明るく自由な性格の山内桜良との交流を描いた物語です。正反対の二人が一緒に過ごす中で、友情や恋愛では表しきれない特別な絆が生まれていきます。命の大切さや人とのつながりについて考えさせられる作品で、切なくも温かい感動が味わえます。読み終わった後には、大切な人との時間をより大事にしたくなる一冊です。